

岩手県山田町の「今」を伝える情報誌

# やまだ

物語

山田町から  
きずな再発信

2013年

vol. 3



若い世代が誇りを持てる  
“新しい山田町”へ前進

- 巻頭インタビュー  
やまだまち漫遊  
ダニエル・カールさん
- やまだのものがたり  
牧庵鞭牛和尚  
ぼくあんべんぎゅうおしょう
- 山田町×コブシスト  
山田町関谷担い手仮設団地  
新生やまだ商店街協同組合  
岩手県立山田高校ポート部  
山田町観光協会より



# やまだまち漫遊

寒さの中にも、新しい季節の訪れがそこかしこに感じられる季節になりました。今回は、支援活動で何度も山田町を訪れ、地元の人々と交流を深めているダニエル・カールさんと一緒に町を歩きながら、当時の活動や山田町の魅力について語っていただきました。

山形弁研究者・タレント

ダニエル・カールさん

## 第二の故郷が津波に襲われ、 居ても立ってもいられなかった

山田町北端の漁港にほど近い大沢浜川目地区にやってきたダニエルさん。「待っていたよ」と大勢の漁師さんに迎えられ、小屋の中の暖炉を囲むように座ると、さっそく酒を酌み交わし始めます。東日本大震災でこの集落が孤

立した際、ダニエルさんが物資を持って訪れたことから交流が始まったそう  
で、「初めは有名人が来て驚いたけど、なじみのある東北弁だし、いつも親身になってくれる」と漁師の鈴木徳夫さん。最近では、魚介類を保管するストッカーを大量に届けてもらったといい、「おれらにとつちや、救世主みてえなものだな」と目を細めます。ダニエル

さんも「山田に来るたび、歓迎してくれる」とうれしそうに、漁師さんたちの声に耳を傾けていました。  
震災時、東京の自宅にいたダニエルさんはテレビで、第二の故郷・東北が津波に襲われる様子を目の当たりにし、「居ても立ってもいられなくて、スコップ持って現地さ向かおうとしたんだ」。しかし、今は東京でできるこ



山田湾沖を望むダニエルさんお気に入りの絶景スポット。「なしてこんな美しい海がな…」と思わずつぶやきます



鈴木さん（右）はじめ、漁師さんたちとの、長年の友人と語り合うような楽しい様子に、確かな信頼関係を感じさせます



アメリカの団体から寄贈された織笠保育園の遊具は、炎天下の中、ダニエルさん自らボランティアの皆さんとともに組み立てたそうで、「かなり大変だったけど、子どもたちが喜んでくれて嬉しいね」

とをするべきと奥様に助言され、ツイッターを通して在日外国人に情報提供したり、海外で飛び交うデマを訂正したり、寝る間も惜しんで発信し続けました。その間、被災地の学校に赴任していたアメリカ人の後輩ふたりが遺体で見られるという悲しい知らせに直面。「アメリカの親戚に伝えねばなんなくて…本当に辛かった」と声を詰まらせます。

そして4月、東北自動車道が通行再開したその日に車に物資を詰め込み、ともかくにも被災地に向けて出発したのです。

### 海と山に囲まれた 30年前の思い出の地へ

最初は現地でボランティア登録して、泥の撤去を手伝ったそうですが、肉休労働がこたえ一日でダウン。「年も年だし、力仕事は若者に任せよう」と次の支援策を考え、運転が好きで自分にできることと思いついたのが、救済物資の運搬でした。

その際、地図を見ていて気づいたのが、「山田町の交通の便があまりよくない」ということ。山田町といえは約30年前、新婚だったダニエルさんが奥様とドライブに出かけ、「こげな美しいところがあるのか」と感動した思い出の地。しかし海と山に囲まれ、内陸とつながる道が少ないため、物資が行

き届いていないと考えたダニエルさんは、山田町に直接、運ぶことを決めます。そして避難所はもちろん、ボランティアや町役場から情報を収集し、孤立した集落にも回りました。前述の、漁師の鈴木さんたちが住む大沢浜川目も、そのひとつです。

こうして震災後の半年間で、少なくとも18回以上、山田町を訪れたダニエルさんは、町の人気者。道の駅やまだに立ち寄れば、地元客が次々集まってきます。「ダニエルさん、また来てくれたのか」「ダニエルさん、いつもありがとね」。タレントでありながら驕った様子は微塵もなく、むしろ被災者に寄り添い励ます姿に、いかに山田を愛しているかがうかがえます。

### 山田の自然と山田の美味、 そして笑顔を応援したい

そんなダニエルさんに山田町の印象を尋ねると、「海も山も美しいけれど、やっぱり食べ物がうんめくなく」とにんまり。初めて見た鮑の踊り焼きやかき小屋の牡蠣食べ放題、地元のお宅でよく出される郷土菓子「すつとき」など、山田町ならではの味に魅了されたといいます。さらに「山田の人は、よく笑う」と感じるそうで、「海外では、震災時の日本人の冷静さに、感情を表に出さない」と報じられたけど、とんでもねえ。順序良く正しいことをやって

いるだけで、山田の人たちを見ていたら、あんなに楽しそうに笑う人たちはいねえと思うよ」。

こうして人々と交流を深めながら、少しずつ町が元気になる様子を見てきたというダニエルさん。山田湾にびっしり浮かぶ牡蠣のいかだを見て、「復興の象徴みてえだな」とつぶやきます。もちろん、日常を取り戻すにはまだ何年もかかりますが、「おらが大好きな東北の人間は心が強えから、どんなことでも乗り越えられるはず。ずっと応援し続けます」。まもなく雪が溶け始める頃。木々に青く透き通る若葉が芽吹きだしたら、春はすぐそこです。

### ダニエル・カール

1960年、アメリカ・カリフォルニア州生まれ。高校時代に留弁学園、大学時代に関西外国語大学留学を経験し、卒業後は英語指導助手として山形県に赴任。その後、通訳・翻訳サービス会社を運営するかたわら、流暢な山形弁を話す外国人として人気を集めタレントに。テレビ・映画出演のほか司会やコメンテーターとしても活躍中。著書に『ダニエル先生ヤマガタ体験記』（集英社）、「オラが心の日本アメリカ」（NHK出版）ほか多数。





山田浦海岸之図  
(写真提供：岩手県立博物館)  
幕末に当地で活躍した絵師、佐々木藍田による下絵。  
鞭牛和尚が拓いた街道が描かれています

大沢地区袴田の、国道45号線沿いに佇む「六角塔」。鞭牛和尚が開削を始めて12年の成果を記念して建立。この地はかつて、大飢饉に苦しんだ人々を供養した地でもあります

# 牧庵鞭牛和尚

ぼくあんべんぎゅうおしょう

山田の道路開削に生涯を捧げた和尚さん



江戸時代、現在の山田町を含む閉伊地方(岩手県東部)は土地が貧しく、たびたび起こる飢饉に悩まされてきました。さらに村々を結ぶ道や、内陸を結ぶ道も切り立った大岩に阻まれ、多くの旅人が命を落としたといえます。この状況を打開しようと、ノミと玄翁(げんのう)を手に立ち上がったのが、鞭牛さんです。宝永7年(1710年)、現在の宮古市和井内に生まれた鞭牛さんは、釜石市林宗寺で住職をしていました。しかし宝暦5年(1755年)の大飢饉の際、悪路のため村外からの食糧も断たれ、多くの人が飢え死にしたことに心を痛め、死者を弔いながら道路を切り拓くことを決意。ノミや玄翁を手に、たったひとり大岩に立ち向かう鞭牛さん

に、当初周囲は冷ややかでした。だが、次第にその献身的な姿に心動かされ、協力者は増えていったといえます。鞭牛さんは、堅い岩は真っ赤に熱してから水で急激に冷やし、脆くしてから壊すという、当時としては画期的な方法で掘削。現在の国道106号線の基礎となった宮古街道をはじめ多くの道を改良し、73歳で亡くなるまでに手がけた道は約400kmに及びます。こうして道を拓くことで、地域の発展に大きく貢献した鞭牛さん。工事が終わるたびに建立した道供養碑は、今でも山田町のあちらこちらに点在しています。自らの利益を省みず、村人のために生涯を捧げた鞭牛さんの姿は、いつの時代も前へ進む勇気を教えてくれています。

山田町間木戸の山道。  
切り開かれた当時の面影が

# 若い世代が誇りを持てる、新しい山田町へ前進

がれきの山も少なくなり、津波の跡に新しい店が1軒、また1軒と増えて、町は少しずつ活気を取り戻しています。あの日からちょうど2年。震災という大きな試練を乗り越え、新しい季節を迎えようとしている山田町の皆さんに出会いました。



## 山田町関谷担い手 仮設団地



自治会長  
川端信作さん

海から約1<sup>キロ</sup>北にある、約80世帯が暮らす仮設団地。幅広い世代が触れ合う、豊かなコミュニティが生まれています。

**お互いに気遣い合う  
仮設暮らし**

3000戸を超える住宅が全半壊した山田町には、約50の仮設住宅の団地が設置され、今なお多くの町民が暮らしています。不便だけでなく、知らない者同士が同じ敷地で生活することになったため、環境になじめず孤立したり、困ったときに周囲に頼めないなど、問題を抱えています。関谷担い手仮設団地は少し違ってきます。

毎日、午後2時過ぎになると、数人の住民が連れ立って、山田北小学校へ向かいます。「子どもたちの登下校の

見守りパトロールをしているんですよ」と自治会長の川端信作さん。草原の小道を抜け、運休中のJR山田線の線路の枕木を渡り、鮭が遡上する時期には関口川をのぞきながら、学校まで歩きます。そして下校時刻、歓声を上げて校舎から出てくる子どもたちの安全を確かめた後、また仮設へ帰って行くのです。「仲間たちと健康づくりを兼ねて始めましたが、子どもの安全と道路状況の確認、犯罪の抑止につながり、まさに一石四鳥ですね(笑)」。

さらに、取材当日はちょうど、岩手県警と合同で防犯パトロールが行われた日。10人以上の有志が、「防犯パトロールです」と呼びかけながら、敷地内をくまなく歩きました。顔を出した住民に笑顔で話しかけたり、歩いている人同士が近況を知らせ合ったりして、普段の親しさが伝わる光景でした。

**どん底を見たから  
後はみんな一緒に楽しく**

このように、関谷担い手仮設団地は自治会活動が活発で、イベントともなると、子どもからお年寄りまで60〜70人が集まる元気の仮設団地。その立役者のひとりの川端さんは、現役時代に高校教師をしていたこともあってか、



避難所でも世話役を引き受けるなど、積極的に動いてきました。しかし、避難所の閉鎖を受けて、この仮設に入居することに。それは折しも、コミュニティ活動の重要性を訴える町役場と支援団体が、各仮設に自治会発足を促していた頃で、「待っていました」といわんばかりに会長にさせられました」と苦笑いします。

そういつつも、「どん底を見た私たちだから、後は楽しむだけ。みんなと一緒に楽しく過ごしたい」と、幅広い人脈を生かして、コンサートやパーベキューなど、多彩なイベントを開催。徐々に住民の仲が深まり、活性化していったのです。その成果の現れが、昨年12月7日夕方に起きた震度5弱の地震のとき。久しぶりの大きな地震で「あのときを思い出してヒヤッとした」という人もいましたが、これまで3回自主避難訓練を行ってきたこともあり、お年寄りもリヤカーに乗せるなどして、落ち着いて避難することができたといえます。

そして、もうひとつ、コミュニケーションを図るために行っているのが、自治会報「せきばやし」の発行。自治会内のさまざまな連絡や報告をまとめたものですが、次第に震災体験も掲載するように。「住民が集まると自然に、震災談義」になることから、互いに話すことで気持ちが軽くなり、絆も深まるのでは」と川端さん。それと同時に「記憶が薄れる前に体験記を残し

て、震災の脅威と教訓を伝えたい」と記録することの意義も込められています。

**新生やまだ商店街 協同組合**

魅力ある町づくりを目指す若い商店主たち。グループ補助金採択により夢の実現に向けて大きな一歩を踏み出しました。

**町のため、家族のため 仲間とともに立ち上がる**

「山田町にもう一度、人々にぎわう商店街をつくらう」。そんな共通の目標を掲げ、30〜40代の若い商店主が中心となり、昨年8月に設立された「新生やまだ商店街協同組合」。昨年、隣町の大植町の商店主らと結束し、政府のグループ補助金取得を目指した時のメンバーの中から、不採択の結果にもめげず、再び有志が集まり結成。現在は22事業者が加入し、実現に向けて精力的な活動を続けています。

理事長を務めるのは、現在は仮設店舗で写真店を営む昆尚人さん。地元で起業して5年半、これからというときに大地震に見舞われ、店も自宅も一瞬で失いました。機材もすべて流され、一



理事長 昆尚人さん



**お花に出会える、春が待ち遠しい... 押し花サークル「夢花クラブ in 山田」**



インストラクターの佐々木哲子さん（左）と、楽しく活動しています

押し乾燥させた花々を、思い描く作品に仕上げる押し花アート。繊細な作業ですが、「大事なのは“創りたい”という意欲」と代表の松本トミさん（写真下中央）。しかし、サークルの前代表、昆加代子さんを津波で亡くしてからその気持ちは薄れ、一時は花から遠ざかりましたが、ある日、津波の跡の真つさらな場所に小さな花が咲いているのを見つけたそうです。「助かったのだから何かしないと」。それから、残った会員と町内の仮設団地を回り、押し花の出前講座を続けています。「初めは無表情だった方が少しずつ笑顔になって。「仮設に入り物資ももらって本当にありがたいけど、お花はいいな。心が和む」という方も」と松本さん。「作品に添えられる言葉で多いのが、心、愛、感謝。これからもっと、心のつながりが大切になると思います」。



2012北信越かがやき総体にて  
(写真提供：山田高等学校ボート部)



募金を  
お願いします！

## 勇壮な神輿渡御を子どもたちに 大杉神社神輿会

大漁旗はためく漁船が待つ海を神輿が渡御する大杉神社神幸祭は、山田を代表する伝統行事。津波で神社と神輿は流失してしまいましたが、「山田の誇りを絶やすな」と有志約60人で「大杉神社神輿会」を発足。神輿の修復を目指し、募金活動を行っています。理事の五十嵐康裕さんは、津波で幼い子どもを含む家族全員を亡くしましたが、昨年の祭りでは、ひとり船を出しました。「心に深い傷を負った子どもらに、最高の祭りを見せる。それが俺らの務めなんです」と五十嵐さん。同じ悲しみを経験した仲間とともに「今年こそ神輿を担ぐ」と意気込んでいます。

### ■大杉神社神輿会ブログ

<http://mikoshikai.blog.fc2.com/>

〔募金先〕北日本銀行 山田支店（普）7019499

大杉神社 神輿会 会長 上林善博



度は諦めかけましたが、町で唯一の写真店として再開を望む声が多かったこと、そして何より、家族と自分のために店の再生を決意。旧知の仲間である、スパーを営むびはんの間瀬慶蔵さんと、中心的な役割を担ってきました。

**次の世代に引き継ぐ  
魅力ある町づくりを**

組合発足当時、次のグループ補助金公募は未定でしたが、公募が決まってから準備を始めても遅すぎる」と、早々に新たな策の検討を開始。人々にぎわう商店街を思い描きながら、「国道45号線沿いのびはんストアアブラザ周辺を町から借り受け、メンバーの店舗を

配置する」などの具体案を練ると同時に、補助金の継続を求める要望書を町長に提出するなど、積極的な働きかけを行ってきました。そして、ついに昨年秋、第5次公募が開始に。すでに準備万端だった組合は満を持して申請し、今年1月に採択が決定しました。

「本当に長く感じましたが、現実になるか分からない夢を描いていた頃とは違います。ようやく実現する段階に移れるのですから」と、喜びをかみしめる昆さん。もちろん、これが大変ですが、「私たち30代、40代が頑張って町を再生させないと、次の世代につなげていくものがなくなってしまう。すべて流されたけれど、だからこそ新しい町、

若者にとって魅力ある町を生み出していきたい。津波の脅威を語り継ぐために、震災語り部ガイド事業もスタートさせています。（本誌観光NAVI参照）。

## 岩手県立

## 山田高等学校ボート部

すべてを失いながらも、強豪の名にふさわしく見事な復活を遂げた部員たち。先輩が築いた伝統は途切れることはありません。

## 震災に屈することなく 部活動を再開

昨年、創部50周年を迎えた山田高校ボート部は、昔から全国大会で数多くの賞を獲得してきた強豪校です。練習場は穏やかな表情をたたえる山田湾。湾岸に艇庫を構え、県内で唯一、湖や川ではなく海で練習を行ってきました。「もしいつも通り練習を始めていたら、あの時間は海の上。逃げ切れていたかどうか？」と話すのは、ボート部OBで監督の鎌野貴広先生。震災当日は自身の会議のため、通常なら午後2時から始める練習を3時に繰り下げた。奇跡が部員の命を救いました。しかし津波は無情にも、艇庫を破壊し、20艇以上あったボートやオール、大切なものをすべて流していったのです。

命は助かったとはいえ、1、2年の部員12人のうち9人の自宅は全半壊し、避難所生活に。中には身内を亡くした



山田高校ボート部の菅原剛くん(左)、佐藤美奈子さん(中)、山根慶大くん(右)

部員もいます。こんなときに遊びのよ  
うなボートを再開していいものか。そ  
もそも海が怖いと思う生徒もいるので  
はないか。新学期が始まってでもなお、葛  
藤の中にいた鎌野先生はある日、部員  
を集めて意思を尋ねます。すると全員  
が「再開したい」と返答。迷いは消えま  
した。しかし、がれきが山積する山田湾  
には出られないため、まずは艇庫の整  
理、陸上トレーニングが中心。ようやく  
ボートに乗ることができたのは、震災  
から50日目のことでした。

### ボートがあつたから 乗り越えられた、強くなれた

「そのときのことは今でもよく覚え  
ています。とても気持ちがよくて、だ  
からボートはやめられない!」と思いま  
した」と3年副部長の佐藤美奈子さん

(震災当時1年)。同じく3年部長の菅  
原剛くん(同1年)も、「やはり水の上は  
最高。スピードが出れば出るほど、どん  
どん面白くなるんです」といい、改めて  
ボートの魅力を確認したといいます。  
とはいえ、思うように練習できないの  
も事実。平日はボート用筋トレマシン  
でトレーニングを行い、週末には車で  
2、3時間のところにある花巻市田瀬  
湖で合宿という日々が続きました。

こうして挑んだ6月のインターハイ  
県予選は、彼らには納得いかない結果  
に。「震災を言い訳にはしたくないけれ  
ど、やはり力が落ちていると実感した」  
と菅原くん。佐藤さんも、「なぜ他校の  
人たちは毎日乗れるのに、私たちは乗  
れないのか。正直焦りました」と悔しさ  
をにじませます。しかしここで終わら  
ないのが強豪校のプライド。「次は絶対  
に勝つ」と、冬のつらいトレーニングを  
耐え抜いた結果、翌年の春には、男子  
5人乗りで東北選手権優勝、インター  
ハイ6人入賞という好成績を収めるこ  
とに。終わってみたら予想以上に強く  
なっていました」と菅原くん。

もちろん活動再開の背景には、父母  
会やOB、ボランティア団体など、多く  
の人たちの支援があつたことも忘れ  
ません。「当たり前だと思つていたけ  
れど、実は当たり前ではないことがた  
くさんあつた。教え切れない支えに感  
謝しています」と佐藤さん。また、菅原  
くんも、「苦難を乗り越えられたのも、  
ボートを続けてきて精神面が鍛えられ

たからだと思えます」と、高校生活の3  
年間を振り返ります。  
震災後、新入部員は激減しましたが、  
今年4月からは、1年の時点でイン  
ターハイ入賞をするなど、圧倒的な存

## 東日本大震災時に山田町の救助に尽力 「町を愛する皆さんなら必ず 復興できると信じています」



防衛省技術研究本部技術  
開発官(航空機担当) 付  
第5開発室主任研究官  
(震災当時: 航空自衛隊第  
37警戒隊長兼山田分屯基  
地司令)

2等空佐  
西口雅人さん



写真提供: 航空自衛隊山田分屯基地

重茂半島の最高地である十二神山には、航空自衛  
隊の分屯基地があります。本州最東端に位置する岩  
手県唯一の基地で、主に東北地方沿岸の空を24時  
間監視し、国を守っています。

震災が発生した当時、基地を指揮していた西口雅  
人さんは、道路や電話回線などのインフラが途絶  
え、情報が錯綜する中、難しい判断に迫られました。  
国防という本来の任務を遂行しながら災害救助に  
乗り出すには、人員も物資も不十分。さらに、町に  
住まう隊員と家族の多くも被災した状況でしたが、  
「助けを求める人がいるのだから」との強い思いか  
ら、隊員から毛布をかき集め、タンクに水を汲むな  
どして、迅速に支援物資を送り届け、逃げ遅れた人

の救助や消火活動を行いました。その後も基地で  
は、支援活動終了の同年7月まで、炊き出しや搜索  
救助、沿岸巡回、がれき撤去にあたりました。

昨年9月、新たな勤務地に赴くに際して、町の状  
況を空から視察した西口さんは、美しく穏やかな  
山田湾と緑にあふれた町並みを目の当たりにした  
といいます。「山田の皆さんは自分の町をとっても愛  
していて、昔ながらの人のつながりを大切にいま  
す。その気持ちがある限り、きっと復興できると信  
じています。いつかまた、妻とふたりの娘を連れて、  
大杉神社の力強い御輿を見に行きたいと思ってい  
ます」。

\*インタビューは2012年9月13日に行いました

在感を見せつける2年の山根慶大くん  
を部長に、新たにスタートする山田高  
校ボート部。長年の伝統と栄光は途切  
れることなく、これからも後進に受け  
継がれていきます。



# 山田町おでかけマップ



**[自動車]**

盛岡南IC～山田町 約2時間 60分

東和IC～山田町 約2時間 30分

**[公共交通機関]**

**電車**

東京～盛岡 (JR 東北新幹線) 約2時間 30分

盛岡～宮古 (JR 山田線) 約2時間 30分

**高速バス**

品川～道の駅やまだ 約11時間

池袋～道の駅やまだ 約10時間

盛岡～道の駅やまだ 約3時間

**路線バス**

大板～いわて花巻 (JAL) 約1時間 30分

札幌～いわて花巻 (JAL) 約1時間

※所要時間は天候等で変動します

## やまだ物語/観光やまだ vol.3

2013年(平成25年)3月11日発行

**発行人** 山田町観光協会

〒028-1371 岩手県下閉伊郡  
山田町船越 7-50-1  
TEL 0193 (84) 3775  
FAX 0193 (84) 3986  
<http://yamada-kankou.jp>

**編集人** 山田町情報誌編集委員会  
山田町役場水産商工課  
山田町教育委員会生涯学習課  
山田町商工会/道の駅やまだ  
やまだ夢プロジェクト  
びはん(株)地域連携推進室  
山田町観光協会

## 山田町観光協会より

2011・3・11—震災直後の壊滅的な状況から、「本当に復興できるのだろうか…」[いや大丈夫、できるはず…]と、いろいろな思いを抱えて町の人々は過ごしてきました。そして、あの日から丸2年。遅々として進まない現実。「復興」という言葉だけが溢れることに対する、いらだちや不安。そんな暗中模索の中でも、本誌の取材を通して出会う人、話をしてくれる人は、真っすぐ前を見つめていました。

頑張っている人、魅力的な人。自慢したい土地の味。お見せしたい景色。全国の皆さんに伝えたい山田の「良いところ」はまだあります。これからも発信し続けます。

**編集** 高寺 久里子

**デザイン** 松岡 功

**撮影** 松浦 将之

**文** 田中 真紀子/清水 わかな(p2)

**表紙・絵** 内田 正幸

**地図** 関根 庸子

**観光アドバイザー** 高寺 圭一郎

**発行支援** 公益財団法人 国際開発支援財団 (FDR ファイダー)

<http://www.fdr.or.jp>

**印刷・製本** 株式会社 東海印刷所

※小誌に掲載されたインタビューや寄稿文などの内容は必ずしも山田町および山田町観光協会の見解を反映するものではありません。表記された価格は税込です。なお掲載された情報は2013年2月現在のものです。

# 豊かな自然が育んだ山田の

豊かな自然に囲まれた山田町は、美味の宝庫。海の幸、山の幸を使った名産を、ご家庭でもお召し上がりいただけます。今回は、新たに5つの味が仲間入り。古くから親しまれている味覚とともに、ぜひご堪能ください。

## 岩手県山田町 オランダ島ビール



地ビールを山田のお土産に **価格 350 円**

岩手の美味しい地ビールにオランダ島ラベルを貼ったオリジナル。

常温 6か月 送料 別途 期間 通年 ※1本につき10円が山田町に寄付

びはん株式会社

山田町中央町 5-6

TEL 0193-82-3881 / FAX 0193-82-5850

## ぶち御膳「焼塩こうじ漬」セット



生きた塩麹に漬け込みました **価格 2,500 円**

地元産塩麹に漬け込んだ魚介を焼いて真空パックにしました。

冷蔵 30日 送料 込み 期間 通年

有限会社木村商店

山田町豊間根 7-30

TEL 0193-83-5510 / FAX 0193-86-2810

## 山田のおみごとセット



食品コンクール金賞の逸品をどうぞ **価格 2,000 円 (3本)**

天然海藻アカモクの佃煮に、しそ風味、ピリ辛みそ味が仲間入り。

常温 240日 送料 別途 期間 通年

三陸味処 三五十

山田町飯岡 5-26-6

TEL 0193-82-3508 (FAX 同)

山田で愛されるおばあちゃんの味「すっとぎ」が、地元の人気店とコラボして、新しい名産になりました。故郷を思い出させる優しい風味をお楽しみください。

株式会社びはんコーポレーション

山田町中央町5-6

TEL 0120-606-668

FAX 050-3730-9843

<http://www.yamadabihan.jp/>

びはんねっと

検索

## 郷土菓子の「すっとぎ」をさまざまにアレンジ。

### すっとぎあيس



価格 2,380 円 (6個)

岩手県・しあわせ乳業が作ったミルク風味のアイスの中に、ほんのり青豆の風味が漂います。

冷凍 送料 クール代込み 期間 通年

### すっとぎなまどら



価格 2,400 円 (10個)

宮古の洋菓子店ドーナツと共同開発。すっとぎの原料・青豆を練りこんだ和洋折衷スイーツです。

冷蔵 30日 送料 クール代込み 期間 通年

# 美味。

## 大玉ホタテの極上カレー



ホタテの香りが食欲そそる濃厚カレー 価格 1,500 円  
甘みたっぷりのホタテが丸ごと入った、風味豊かなカレーです。

常温 1年 送料 別途 期間 通年

株式会社川石水産

山田町山田 5-30-47

TEL 0193-83-5155 / FAX 0193-83-5020

<http://www.kawaishi-suisan.com/>

## 牡蠣の燻製 椿オイル和え



そのままでも、お料理に入れても！ 価格 850 円(1本)  
地元産カキを燻製にし、オリーブオイルと椿油でからめました。

冷蔵 直接問合せを 送料 別途 期間 通年

有限会社まるき水産

山田町北浜町 963

TEL 0193-82-5511 (FAX 同) 問い合わせは 10:00 ~

### いつもと違う味わいで。

## すつとぎろーる



価格 2,100 円

ロールケーキで有名な岩手・花月堂とコラボした、ふんわり生地が口の中であとろける逸品。

冷蔵 30日(解凍後2日) 送料 込み 期間 通年

冷蔵

ご購入後の保存方法と期間の目安を表します。冷凍、冷蔵、常温など。冷凍品の解凍後は、表示に従ってください。

送料

送料別途については、各店にお問い合わせください。なおクール便代や保冷容器代が別途必要な場合があります。

期間

該当商品の取扱期間。なお原料の仕入れ状況等で、期間内でも取り扱えない場合があります。

## 三陸山田 漁師の生ふりかけ

かけるだけでご飯もごちそう！ 価格 500 円 (券種買入りは 600 円)

こりこりの帆立貝ひもとアミ小エビを使い、しっとり仕上げたふりかけです

冷蔵 30日 送料 別途 期間 通年

有限会社まるき水産

山田町北浜町963 TEL 0193-82-5511 (FAX同) 問い合わせは10:00~

## 岩手山田湾あかもく

粘りと食感が人気の海藻 価格 2,100 円 (70g × 12 個)

粘りとシャキシャキした食感で、栄養成分も豊富に含まれた海藻です。

冷蔵 1年(解凍後3日) 送料 別途 期間 通年

岩手アかもく生産協同組合

山田町中央町 11-1 TEL 0193-65-1315 / FAX 0193-65-1316

## 岩手産生わかめ

ミネラル豊富な肉厚わかめ 価格 320 円 (100g)

三陸の一番採りわかめをポイル・塩蔵した肉厚わかめ。カットわかめも。

冷蔵 90日 送料 別途 期間 通年

株式会社川秀

宮古市津軽石 13 地割 411 TEL 0193-83-1733 / FAX 0193-67-3881

## わかめラーメン

磯の香りがふんわり漂う 価格 330 円 (2 食分・たれ付き)

岩手県産小麦で作った麺に三陸産わかめを練りこんだ、新しい名産です。

冷蔵 5~7日 送料 別途 期間 通年

釜揚げ屋

山田町飯岡 6-45-45 TEL 0193-82-5873 (FAX 同)

## 手ほぐし鮭フレーク 波しぶき

三陸沖の秋鮭を詰め込みました 価格 1,800 円 (70g × 2 本 × 6 セット)

三陸沖の秋鮭を使い、独自の製法で丁寧に作った鮭フレーク。おにぎりに。

冷凍 180日 送料 別途 期間 通年

有限会社長根水産

山田町船越 11-7-14 TEL 0193-84-2603 (FAX 同)

## 手造りみそ

昔ながらの風味豊かな手造りみそ 価格 550 円 (600g)

山田町の豊間根産大豆と米を主原料に、昔ながらの製法で仕上げた無添加みそ。

冷蔵 180日 送料 別途 期間 通年

おみなや

山田町豊間根 20-37-3 TEL 0193-86-2654 (FAX 同)

## 和風イカフライ

揚げるだけで香ばしいイカフライに 価格 3,500 円 (1 ㎏ × 5 袋)

和風仕立ての柔らかいイカフライが、3分揚げるだけで楽しめます。

冷蔵 1年 送料 別途 期間 通年

株式会社丸一水産

北上市鬼柳町膝口 160-1 TEL 080-1654-1692 / FAX 0197-67-5611

## ほたてグラタン

たっぷり帆立の贅沢グラタン 価格 2,190 円 (180g × 3 個)

帆立のほぐし身をたっぷり使い、帆立貝に盛り付けた見た目も贅沢な逸品。

冷蔵 1年(解凍後4日) 送料 800円 期間 通年

株式会社川石水産

山田町山田 5-30-47 TEL 0193-83-5155 / FAX 0193-83-5020

<http://www.kawaishi-suisan.com/>

## 山田生せんべい

黒ゴマの風味がたまらない！ 価格 350 円 (5 枚)

米粉に黒ゴマをたっぷり混ぜた味わいある半生せんべい。もちタイプもどうぞ。

冷凍 14日 送料 別途 期間 通年

菓子工房 川最

山田町長崎 1-9-2 仮設店舗 B-3 TEL 0193-82-2173 (FAX 同)

## 山田せんべいロール

ふわっと軽い口あたりが人気 価格 850 円 (300g)

あの山田せんべいがロールケーキに。黒ゴマが生クリームにマッチします。

冷蔵 30日 送料 別途 期間 通年

洋菓子のかわさい

山田町中央町 6-11 TEL 0193-82-4127 / FAX 0193-82-5873

# 観る遊ぶ

## 臥竜梅

樹齢300年の岩手県指定天然記念物、臥竜梅(がりょうばい)。津波で海水に浸かったものの、4月の下旬には見事な花を咲かせました。“復興の象徴”として多くの人々に愛されています。山田町大沢9-65 福士宅庭園内



# 梅や桜が咲き誇る 東北の春を待ち望む

長く厳しい冬が終わると、待ちに待った春の到来。冬眠から目覚めたように、色とりどりの花がいにいに咲き誇ります。



## さくらまつり

山田町では4月下旬から5月にかけて、梅や桜などの花々が咲きます。今年も、船越家族旅行村では「さくらまつり」が開催される予定。日時などの詳細は、ポスターや、観光協会公式ブログ「とことこ日記 (<http://yamada-kankou.sblo.jp/index-3.html>)」などをご確認ください。

# 学ぶ

# 震災を語るガイドツアーも誕生！ 3つのコースから選べます

山田町の商店街づくりに取り組む有志が、今年1月から震災について語る案内事業をスタート。その名も「震災語り部ガイド」。津波の脅威を語り継ぐことで、“あの日”を風化させないのと同時に、山田町の現状と、復興に向けて歩む様子も直接、見て聞くことができます。



【コース・料金】 ※1名から要予約

- ◎被災ガイド：町役場→御蔵山→魚市場（応相談）を巡ります。 3時間まで3,000円
- ◎語り部タクシー：タクシーに乗りながら町内の被災地を案内します。 1時間4,700円
- ◎語り部飲食店：食事をしながら震災当時について店主が語ります。 30分1,000円（食事別）

【申し込み・問い合わせ】 新生やまだ商店街協同組合事務局 TEL & FAX：0193-77-3732 Mail：info@shinseyamada.com

## 四季のイベント

### 春

4月には山田名物の牡蠣を堪能する「三陸山田カキ（活気）まつり」が開かれ、水産物の浜値販売などもあります。また桜の開花時期には「さくらまつり」が開催。5月に織笠川で催される「アサリまつり」では、多くの家族連れが潮干狩りを楽しみます。（さくらまつり以外は再開未定）

### 夏

6月に入ると穏やかな山田湾ではシーカヤックなどのマリンスポーツが楽しめます。また7月には毎年、オランダ島（大島）の海水浴場で「山田ビーチフェスタ」が行われてきましたが、震災の影響により中止していますが、お盆の頃には花火大会も行われます。（いずれも再開未定）

### 秋

山田町最大の祭りである「山田八幡宮神幸祭」「大杉神社神幸祭」が、9月の敬老の日の前々日から3日にわたって開催。山田八幡宮の神輿が街中を暴れまわり、境内では山田境田虎舞をはじめ鹿舞（ししまい）や神楽など郷土芸能の奉納が行われます。若者たちの迫力ある演舞は一見の価値あり。

### 冬

11月下旬と12月上旬に、織笠川で「鮭大漁祈願祭」が開催。産卵のために織笠川に戻ってきた、丸々太った鮭のつかみ取り体験ができるほか、生鮭や新巻鮭、イクラの浜値販売も（鮭の遡上尾数により中止の場合あり）。また牡蠣のシーズになると、かき小屋の牡蠣食べ放題が始まります。



食べる

ふりっぶりの山田祝開店  
牡蠣を召し上がれ!

穏やかな山田湾で育てられた牡蠣たちが、冬を越えて、殻からはみ出んばかりに大きくなりました。ふりっぶりで栄養たっぷりの牡蠣は、今が旬。思う存分ご堪能あれ!

全部食べたならもう一回盛るよ!



熱々のうちにたしさん食べてね!



大きくて立派な牡蠣ですよ!

三陸山田 かき小屋

ゴールデンウィーク(5月6日)まで、鉄板の蒸し焼き牡蠣が存分に味わえる食べ放題を実施中(ライス付き、前日まで要予約)。ほかに、かき玉井・汁付き700円、かき小屋風海鮮焼きそば600円も。

- 【料】 大人2,500円、小学生以下1,500円
- 【営】 11:00～/12:00～/13:00～/14:00～  
(完全予約制。制限時間40分)
- 【休】 水、木(祝日の場合は営業)
- 【所】 山田町船越9-270
- 【☎】 0193-84-3775  
(山田町観光協会:8:30～17:00)



泊まる

山田を満喫するならやっぱり泊まらなきゃ!

再開するまで待っててね~!



**ホテルビジネスインやまだ**  
国道45号沿いの駅やまだの近く、1階にレストラン有り。  
【料】 シングル(53)/7,000円～、ツイン(3)/13,000円  
【時】 IN15:00 / OUT10:00  
【設】 タオル・歯ブラシ・部屋着有り、インターネット完備  
【所】 山田町船越6-148-1 (駐車場50台)  
【☎】 0193-84-3006  
<http://inn-yamada.jp>



**宿 木村屋**  
長期滞在型ホテル。コインランドリー有り。  
【料】 2食付きシングル(14)/6,500円  
【時】 IN15:00 / OUT10:00  
【設】 タオル・歯ブラシ・部屋着有り、インターネット完備  
【所】 山田町大沢2-26-6 (駐車場有り)  
【☎】 0193-77-4222

鯨と海の科学館



鯨について学びながら、海の不思議や神秘についても知ることができる科学館。世界最大級のマッコウクジラ、ミンククジラの骨格標本は驚きの迫力。(東日本大震災の影響により休館中)  
【所】 山田町船越7-50-1  
【☎】 0193-84-3985

旬な情報満載!!

# 山田とれた

## すつとぎろーる

ロールケーキで有名な岩手の菓子店・花月堂のコラボ品。すつとぎの原料となる青豆と米粉を使い、ふんわり優しい食感に仕上げました。

1本 1,400円

山田町で古くから愛される「すつとぎ」が、ロールケーキの駅やまだにも、山田町ならではの新商品が登場して

生クリーム  
のつぼつぼ感が  
アクセント!

## すつとぎなまどら

どら焼きといっても、中身は青豆を練りこんだ生クリーム!宮古の洋菓子店ドーナレと共同開発。

1個 170円

## 故郷の味・すつとぎ

すつとぎとは、山田町を含む三陸沿岸で古くから親しまれている伝統のお菓子。「しとぎ」「豆しとぎ」など地域によって呼び方はさまざまですが、山田町では「すつとぎ」と呼ぶのが一般的です。青豆を煮てすりつぶしたものに、米粉、砂糖、塩を加えてこね、筒状にしたらできあがり!しっとりとした食感、シンプルなやさしい味が、ふるさと・山田のおばあちゃんを思い出させてくれます。そのまま食べるのと羊羹に近い味わいですが、表面を焼いてサクサクにしたり、アレンジが楽しめるのも魅力!



## すつとぎあيس

岩手・しあわせ乳業の牛乳を使った、ミルク感たっぷりのアイスクリーム。

1個 250円



\*商品はいずれも、びはんコーポレーション(山田町中央5-6)で販売。インターネット販売も行っています。詳細は名産品のページに。

体験型観光施設が  
いよいよオープン!

## やまだ観光物産館「とっと」

大型の観光バスも停まれる新たな観光スポット。地元の名産品や焼きたてパンの販売のほか、ここで買った海の幸をくん製にしたり、ピザの具にして焼いたり、さまざまな体験ができます。お店で買ったパンやお弁当が食べられるフリースペースも用意。

山田ならではの  
「くんめえ体験」  
を楽しんで!

休憩がてら  
遊びに来てね!



お弁当  
寅丸水産  
600円

魚介類販売コーナーでは、鮮度と無添加にこだわった地元・寅丸水産の海産物を販売。ワタが通常の2倍入った濃厚な「イカの塩辛(180g)」600円のほか、「ナマコのしょうゆ漬け(100g)」500円、「蒸しウニ(70g)」1,000円などが並びます。具たくさんの日替わり弁当も用意します。

【営】9:00~18:00  
【休】火曜日  
【所】大沢第2地割19番1  
【☎】0193-77-4890  
(体験は要予約。  
詳細は問い合わせを)

山田町観光協会 <http://yamada-kankou.jp>  
公式ブログ「山田とこと日記」 <http://yamada-kankou.sblo.jp/>



日本酒「山田魂」  
プレゼント!

盛岡の蔵元・あさ開プロデュース「山田魂」300ml  
を抽選で5名様に。アンケート用紙に氏名・年齢・住  
所・電話番号と3号の感想を書き添えて山田町観光  
協会までご応募を。

# てNEWS

キヤドラ焼きになって、さらに人気上昇中!  
います。



山田高校ボート部  
(7頁で紹介)を応援するな  
ら、支援チームのブログを  
要CHECK!

今年も活躍が期待される、  
岩手県立山田高等学校ボート部。  
活動報告は私設支援ブログで。  
<http://www.ymd-boat.com>

## 海老塩担々麺

エビ風味のスープに、オキエ  
ビ、むきエビをトッピング。  
600円

**NEW**

エビ・エビ・エビ  
尽くしの担々麺

## 大杉神社神輿会

神輿の修復を目指して募金  
活動を行っています(詳細  
は7頁で紹介)。

<http://mikoshikai.blog.fc2.com/>

募金を  
お願いします!



## 岩手道の駅やまだ限定 大杉神輿復興 キューピー

津波で壊れた大杉神社の神  
輿復興を願ってつくりまし  
た(売り上げの一部は寄付)。  
1個 550円

**NEW**



## 「失われた街」 復興プロジェクト開催

全国の大学で建築学を専攻する学生らが中心に取り組み模型  
復元プロジェクト。模型で再現された町並みに、思い思いに  
色をつけ、町の色彩を取り戻そうというもの。「私の家の屋  
根はこんな色だった…」など、思い出話を花を咲かせながら、  
町民の皆さんと学生とで模型を完成させましょう!

3月14日(木)~17日(日) 8:30~21:00 (最終日は17:30退館)  
山田町中央コミュニティセンター2階集會室  
3月18日(月)~20日(水・祝)  
9:00~21:00  
山田町役場 山田体育館  
【問】「失われた街」  
模型復元プロジェクト事務局  
<http://losthomes.jp>



## わかめクロワッサン

地元の水産加工会社・川秀のワカメを練  
りこんだ道の駅限定の人気商品です。  
5個入り 300円

## ふれあいパーク山田 道の駅やまだ

<http://www.yamada-michinoeki.jp>

山田町をはじめ、三陸ならではの海の幸や山の幸、お土産  
ものをたくさん取りそろえています。フードコート(9:30  
~ 16:30)のユニークメニューも必見!

【営】 9:00 ~ 19:00  
【休】 不定休  
【所】 山田町船越 6-141  
【☎】 0193-89-7025



三角屋根が  
目印!



## 底力パーカ

書道アーティスト、須賀紫音さんによる力強い文字が印象的な「底力」Tシャツシリーズに、フルジップアップパーカが仲間入り。色は、グレー×赤ロゴ、ネイビー×白ロゴなど4種類、サイズはS~XL。1枚3,150円

2013年(平成25年)3月11日発行 岩手県・山田町観光協会 〒028-1371 岩手県下閉伊郡山田町船越7-50-1 TEL:0193(84)375 FAX:0193(84)3088 <http://yamada-kankou.jp>

岩手県山田町を満喫する観光ガイド

観光

# やまだ

海と山  
恵みさんさん  
三陸山田

2013年

vol. 3



●特集 NAVI 山田とれたてNEWS

**やまだ観光物産館「とっと」がOPEN！  
郷土菓子すっときコンビ商品&道の駅 新商品も！**

●観光 NAVI

**ぶりっぷりの牡蠣を召し上がれ！「三陸山田かき小屋」  
震災を語るガイドツアーも誕生！「震災語り部ガイド」**

●山田町おでかけマップ

山田町のふるさと名産品

ふるさとの味をご家庭で。  
山田の名産品をお届けします。

表紙